

PTA評議員会と総会を開催しました!

昨年度、中止となったPTA評議員会とPTA総会ですが、今年度は感染防止対策を徹底する中で、無事、開催することができました。4月20日に行われた評議員会では、学校および各学年からの説明を受けて、それぞれが所属する専門委員会(生活委員会・イベント支援委員会・広報委員会)での仕事分担を話し合いました。その後、同窓会役員さんと一緒に後援会理事会に参加しました。29日のPTA総会では、安全面の配慮から公開授業こそ中止としましたが、学年部会総会、本会総会、学級PTAは予定通り行い、会計報告や行事予定等の議案を承認したり、担任の先生と懇談したりしました。当日はPTA会長の引継ぎ式も行われ、武川裕一前会長から志村秀剛新会長にバトンが渡されました。



PTA会長挨拶

「生徒・保護者・学校の架け橋となるPTA活動を目指して」

PTA会長 3年3組 志村 秀剛



日頃より、巨摩高校PTA活動に御理解と御協力を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は生徒達だけで執り行われた白嶺祭も、今年度はPTAのパンの販売を通じて協力することができて嬉しく思っています。来年度は、例年通りの盛大な白嶺祭ができるように祈るばかりです。

さて、新型コロナウイルスの感染拡大はまだ収まらず、日常生活にも大きな影響が出ております。皆様も感染拡大を抑えるために日々努力を重ねられているものとお察し申し上げます。親自身が家族を守るために感染しないよう注意を払っておりますが、生徒達もマスク着用、うがい手洗い、消毒、黙食と努力を続けているようです。日々、心配は尽きませんが、今は出来ることを続けていくしかありません。一日も早く人類がコロナウイルスに打ち勝ち、元気に生活が送れるよう、生徒、保護者、先生一丸となって、この大きな局面を乗り切りたいものです。生徒の皆さん一人一人が、諸先生方の励ましや御指導のもと、勇気を出し、確かな一歩を踏み出して欲しいと願っています。それが充実した学校生活につながるはずですよ。

PTA会長という大役を務める中で、御迷惑をおかけすることもあると思いますが、引き続き皆様のお力添えを賜り、生徒・保護者・学校の架け橋となるPTA活動を目指し、尽力していく所存です。今後とも変わらぬ御支援、御協力の程、よろしく願い申し上げます。

編集後記

多くの方々の御支援によりまして、今年度の巨摩高PTAだよりを無事発行することができました。今号は6月に行われた白嶺祭を中心に掲載しております。

コロナウイルスの流行から2年、少しずつですが行事等行われるようになりました。しかし、全国的に感染が広がり続け、まだ先の見えない状況が続いています。今の苦しい状況を乗り切り、来年は多くの行事が行われ、子供たちが充実した高校生活を送られるよう願います。そして来年も、この広報誌に、より多くの記事を載せて発行することができればと思います。

誌面作成に当たり、御協力頂いた全ての皆様に、この場をお借りして改めて御礼申し上げますとともに、今後ともPTA活動に對しまして、御理解と御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

広報委員会副委員長 2年3組 金丸 幸司

学校挨拶

「子どもたちの自律を支援するために、今、私たちにできること」

教頭 天野 信一



平素から保護者の皆様におかれましては、本校の教育活動に御支援と御協力をいただきまして、誠にありがとうございます。また、4月に開催しましたPTA評議員会並びにPTA総会に際しましては、新旧役員様をはじめ多くの会員の方々に御参加をいただき感謝申し上げます。

さて今年度は、約3千名が一堂に会し、令和3年度関東地区高等学校PTA連合会大会山梨大会が、7月9日(金)・10日(土)の日程で甲府市を会場に開催される予定となっていました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響から、他県との研究協議や情報交換など本来の目的は叶わず、紙上開催という形を変えての実施となりました。本大会のメインテーマには「子供たちの自律を支援するために、今、私たちにできること」を掲げていました。平成30年6月に公布された「民法の一部を改正する法律」により、成年年齢が20歳から18歳へと変わり、令和4年4月から施行されます。すでに、選挙権は18歳以上、18歳成人は「早く社会参加してもらいたい」「世界基準は18歳」という見方からの改正ですが、学校教育の現場や現代社会においてその準備ができていないか些か心配ではあります。

民法が定めている成年年齢は、「一人で契約をすることができる年齢」や「父母の親権に服さなくなる年齢」という意味があります。成年に達すると、親の同意を得なくても、自分の意思で携帯電話を契約する、クレジットカードをつくる、といった様々な契約ができるようになりますので、悪質な事業者による高額商品の販売やマルチ商法などの消費者被害の増加が懸念されています。

18歳成人に対して、経済的な自立は多くの場合困難だと思いますから、これまでと同様に支援をしていく必要があります。また一方で、規範意識と評価・判断する力「自律」を育むことが大変重要な要素となってきます。コロナ禍で様々な学校教育活動が制限されているところですが、子供たちの成長を後押しすることは「新しい生活様式」の中でも求められております。このためにも、学校と家庭・地域の支援がきわめて重要だと考えております。今後もPTA活動に御理解をいただき、学校への御理解と御協力をお願い申し上げます。

巨摩高PTAだより

KOMAstyle FOR PARENTS VOL.7

- 発行先…山梨県立巨摩高等学校
〒400-0306 山梨県南アルプス市小笠原1500-2
TEL.055-282-1163 FAX.055-282-1104
- 発行日…令和3年10月15日 ●編集…巨摩高校PTA広報委員会

巨摩高校のコト、もっと知りたくなったら、ホームページにアクセス!!

巨摩高校

検索

URL…<http://www.ko.kai.ed.jp/>
E-mail…info@ko.kai.ed.jp

News and Magazine of KOMA High School

2021. FOR PARENTS KOMA VOL.7

楽しみながら学ぶ、それが『巨摩スタイル』。
「保護者の目線」に立って、PTAの取り組みや、活動の情報を皆様に提供していきます



すべては子どもたちと共に
夢を追い続けるために…



令和4年に巨摩高校は
創立100周年を迎えます

特集… Special edition

●白嶺祭・PTAこまねきねこパン販売
●夏の野球応援

●令和3年度PTA評議員会および総会
●PTA会長あいさつ



白嶺祭特集

PTAパン販売

巨摩高校PTAでは、白嶺祭2日目にイベント支援委員会の活動として、食堂前で学校キャラクターの焼き印を押した「こまねきねこパン」を販売しました。



完売御礼



～「こまねきねこパン」の販売を振り返って～

イベント支援委員会委員長 3年1組 名執 洋子

本年度のPTAイベント支援委員会の活動は、白嶺祭2日目のパン販売でした。南アルプス市のベーカリー「ルーブル」様に作っていただいた「こまねきねこパン」を、先生方の創意工夫と協力のもと、感染防止対策を徹底して販売しました。

あん・チョコ・クリームチーズの3種類のパンを500個限定で、密にならずにできる限り沢山の生徒さんに食べてもらえるよう、学年ごと時間指定で販売計画を立てました。当日は広報委員会の皆様にも御協力いただき、とても手際よく作業が進み、また和気あいあいとしたイベントとなり、私自身も白嶺祭の楽しい雰囲気を味わわせていただくことができました。生徒たちが学園祭という特別な一日を一生懸命創り上げ

ていく様子、生徒の自主性を引き出す先生方のかかわり方を垣間見ることができ、巨摩高生が学校生活を心から楽しんでいることが伝わってきました。白嶺祭は高校生活の中で生徒たちが最も楽しみにしている行事であり、全校生徒で創り上げていく過程の中で、試行錯誤しながら様々な体験や普段得られない感情を手にすることができます。きっと卒業後に生徒の心に深く色濃く残る思い出となるでしょう。コロナ禍の中で白嶺祭を実施していただいた学校には、高校生活最後の学年となる生徒の保護者として感謝の気持ちで一杯です。そしてともに協力し合い、パン販売をおこなった委員の皆様、担当の先生方、御協力ありがとうございました。

「広報委員会の活動を終えて」

広報委員会委員長 3年5組 深澤 公一郎

昨年に続き、今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、広報委員会の活動は限られたものとなり、編集会議を除き、実際の活動は白嶺祭の2日間のみとなりました。

6月23日、24日に行われた白嶺祭は「夢創」というテーマのもと、感染症対策に配慮しながら、厳粛の中にも盛大に行われ、生徒が伸び伸びと楽しんでいる姿にホッとさせられました。巨摩高生として最初の白嶺祭を思い切り楽しむ1年生、1年生のお手本となり3年生に負けないぞ!と気合いの入る2年生、最後の白嶺祭を最高のものにしようと精一杯頑張る3年生、そんな生徒達の表情には、自信にみなぎった「巨摩高生らしさ」が輝いていたように思います。

2日目の、イベント支援委員会の皆さんのパン販売も盛況で、生徒や先生方のたくさんの笑顔写真を写収めることができました。参加した委員の方からは「学校や子ども達の雰囲気を見ることができてよかった!」と、喜びの声を聞くことができました。

準備や運営など尽力いただきました先生方、委員の皆様、ご協力ありがとうございました。来年度は、世の中も落ち着き、たくさんの方々が学校行事に参加できることを切に願っております。



夏の高校野球選手権山梨大会

夏の高校野球選手権山梨大会2回戦。7月11日(日)11:00から山日YBS球場において、山梨学院高校との試合に臨みました。当日の気温は38度と厳しい暑さになりましたが、惜敗した春季大会の雪辱に燃えて、部員の士気は最高潮に達していました。

「凡事徹底」をテーマに掲げた選手たちは、積極的なバッティングを心掛け、仲間と野球ができる幸せをかみしめながら、一戦必勝の覚悟で戦いました。マネージャーもスタンドから懸命に応援を続け、保護者もまた、練習を重ねてきた子供たちのために、一丸となって応援を展開しました。コロナ禍で声を出しての応援はできなかったものの、球児の一投一打にメガホンを一杯叩いて勝利を祈りました。

巨摩高校は一回2死二塁から宮下君の中前打で先制、タイムリーを放った宮下君は五回を投げ切り、無失点と力投しました。しかし、1点リードで継投した六回裏、右中間三塁打と押し出して逆転され、八回にも追加点を奪われて、選手たちの夏は終わりました。

新型コロナの影響で、保護者が応援に参加するのも難しい状況が続いていましたが、夏の高校野球という大事な試合で、子どもたちと保護者が一体感を得ることができました。選手の皆さんは感動させてくれる試合をありがとうございました。そして、大会を運営して頂いた役員の皆様、関係の先生方には感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。

PTA広報委員・野球部保護者 2年2組 東條 小百合